



PRESS RELEASE

令和 8 年 8 月 21 日

**医療的ケア児のための手順書解説動画制作プロジェクト
動画公開のお知らせ****◆発表のポイント**

- ・ 2024 年 10 月に完成した、医療的ケア児に対する岡山県内手技統一手順書に沿った動画を制作しました。
- ・ 2025 年に行ったクラウドファンディングによる支援を受けて作成し、2026 年 7 月 28 日に岡山県医療的ケア児支援センターで公開されました。
- ・ 岡山県のみならず、誰でもアクセス可能な形で全国に発信していきます。

岡山大学学術研究院医歯薬学域（医）小児急性疾患学講座の鷲尾洋介教授（特任）は、医療的ケア児に対する痰の吸引や経管栄養などの手技を岡山県内で統一するための手順書（パンフレット）を県内の関係医療機関と協力して初めて作成し、2024 年 10 月から岡山県医療的ケア児支援センターのウェブサイトに掲載されました。この手順書は、県内の多くの医療機関で活用されはじめており、岡山県のみならず他の自治体からも問い合わせが増え、利用者は広がってきています。この手順書に沿った医療的ケア児に対する手技動画を制作する目的で 2025 年にクラウドファンディングで資金を募り、制作を実現しました。

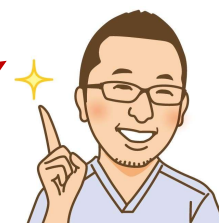
2026 年 7 月 28 日に岡山県医療的ケア児支援センターのウェブサイトで完成した動画を公開することができました。手順書の内容を解説する動画が完成し、手順書と一緒に公開することで、新たに医療的ケアを学ぶ方々が、より手技を獲得しやすくなることを目指します。

誰でもアクセス可能な動画となっておりますので、ぜひ、多くの方々にご利用いただきたいと思います。

◆研究者からのひとこと

医療的ケア児のための動画を制作することによって、手順書による手技獲得がより容易になることを目指しています。

私たちは、障害を持って生きる人々が社会の一員として受け入れられ、その支援者とともに十分なサポートを受けながら成長していける社会を目指して日々取り組んでいます。手順書および動画がその一助になればと考えています。



鷲尾教授（特任）



PRESS RELEASE

■発表内容

<背景>

医療的ケア児とは、医学の進歩を背景として NICU（新生児集中治療室）等を退院後も引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、痰の吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な主に 18 歳未満の児童のことです。日本全国で 2 万人程度と推計され、岡山県の統計では 2026 年度には 400 人前後の方が生活しています。

鷲尾教授（特任）は、医療的ケア児に対する痰の吸引や経管栄養などの手技を岡山県内で統一するための手順書（パンフレット）を県内の関係医療機関と協力して初めて作成しました。具体的には痰の吸引、経鼻・経管栄養、導尿のほか、日常生活を送る上で必要な個別の医療行為について、実施手順や注意点などがまとめられており、完成した手順書は岡山県医療的ケア児支援センター（岡山市北区祇園 866）のウェブサイトで 2024 年 10 月に公開されました（<https://www.okayama-icare.com> ※TOP ページの「【医療的ケア児とは】」の項目に掲載）。



2024 年 9 月に完成した手順書

<手順書動画の作成と公開>

手順書の作成に引き続いて、“医療的ケア児のための動画制作プロジェクト”と題して、クラウドファンディングを行いました。獲得した資金をもとに、手順書の解説動画を作成して、岡山県医療的ケア児支援センターホームページでの公開を開始しました。手順書は岡山県全域で退院指導に使用されるようになっており、標準的な医療的ケアの手順を行う際の指標となりつつあります。今回、手順書に沿った医療的ケア動画を制作することにより、新しく医療的ケアを学ばれる方が視覚的に情報を得ることで、より手技を獲得しやすくなることが期待されます。

完成した動画は手順書と同じウェブサイトで公開されており、全国のどなたでも閲覧できるようになっています。今後はクラウドファンディングで集まった寄付金を生かして、手順書、英語版の作成と、英語版動画作成を進めるとともに、医療的ケアの研修会などを企画していく予定です。

岡山県医療的ケア児支援センターホームページ

<https://www.okayama-icare.com/>

<お問い合わせ>

岡山大学学術研究院医歯薬学域（医）小児急性疾患学講座
教授（特任） 鷲尾洋介

（電話番号）086-235-7249 （メール）wxy-kk@cc.okayama-u.ac.jp



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

